

平成 26 年度第 1 回 ISO/TC46/SC4 国内委員会

1. 日時：2014 年 7 月 29 日(火) 14 時～16 時
2. 場所：情報科学技術協会(文京区小石川 2-5-7)
3. 出席者：

委員	宮沢彰	国立情報学研究所 (SC4 リーダ)
	長田孝治	株式会社ロゴヴィスタ
	五十嵐健一	慶應義塾大学
	大場高志	公益社団法人日本図書館協会
	橋詰秋子	国立国会図書館
	安形輝	亜細亜大学
	千葉孝義	産業技術環境局国際電気標準課
事務局	光富健一	情報科学技術協会

4. 配布資料：

平成 25 年度 ISO/TC46/SC4 国内委員会第 2 回委員会議事録

資料 1：平成 26 年度ニーズ(安全・安心)・国際幹事等輩出分野に係る国際標準化活動実施計画書

資料 2：規格要約票

資料 3：2013/12/9 以降 ISO/TC46 投票済案件と審議案件

資料 4：ISO/TC46/SC4-TC37/SC2JWG 報告

資料 5：TC46/SC4/WG11 RFID in libraries 会議報告

資料 6：TC46/SC4/WG14 ILL Transactions 会議報告

資料 7：TC46/SC4 総会 会議記録

資料 8：NWIP International library item identifier(ILII)

5. 議題：

5-1) 前回議事録の確認と今回の議事録の作成者

前回の議事録を確認した。

5-2) 委員の紹介

今年度、新しい委員が加わったため、自己紹介を行った。

5-3) 平成 26 年度実施計画書

三菱総研に提出した計画書(資料 1)と規格要約票(資料 2)に基づき、宮澤リーダー

より ISO/tC46/SC4 の事業全体の概要について、事務局より具体的な活動について説明があった。

5-4) 平成 26 年度 ISO/TC46/SC4 投票報告と審議案件について

資料 3 に基づき、宮澤リーダより、前回委員会以後の投票済案件 14 件(No.5-18)について各案件内容について簡単な説明とともに投票した回答について報告があった。現在の審議案件は 2 件でいずれも Systematic Review。それぞれの担当委員が決められた。

5-5) ISO/TC46 ワシントン総会報告

資料 5 - 7 に基づき、宮澤リーダより、総会と総会にあわせて行われた JWG 報告(言語コード[ISO 639]の見直し)、WG11 報告(RFID 関係)、WG14 報告(ILL プロトコル関係)の説明があった。総会の中で議論された内容のうち、SC4 に関係して今後予想される案件としては、MEDONA、EPUB、Dublin Core の見直しがあった。

次回総会は 2015 年 6 月に中国北京で開催予定。

5-6) 国際図書館資料識別子 NWIP について

資料 8 に基づき、宮澤リーダより、日本提案として ISO/TC46/SC9 に提出したことが報告された。以前に SC4 で検討されていた RFID の UII(Unique Item Identifier)に基づく提案であるため、この NWIP 作成の WG に宮澤リーダと安形委員が参加している。

5-7) その他

ISO/TC46/SC4 委員会の議事録を情報科学技術協会ウェブページで公開する件について検討された。

次回会合は来年の 1 月下旬を目途に開催予定。

(以上)